



# オリーブ便り Olive News

2020.01.01

No. 427



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 田宮 隆

基本  
理念

患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

## 年頭所感

香川大学医学部附属病院長 田宮 隆



令和最初の初春に当たり、皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

病院再開発がほぼ終了し、正面玄関の道路と仮設外来で使用していた病院中庭の整備も今年3月には終了する予定です。長い間ご迷惑をおかけしましたが、今後新しい香川大学医学部附属病院として下記のような活動をしていく予定です。

まず、最も重要な「良質で安全な医療や環境を提供」ですが、昨年実診療での倫理問題に対応するための臨床倫理委員会を設置し、今年も「患者安全」の考えに基づいた診療を行っていきたいと思っています。昨年9月に当院は「がんゲノム医療拠点病院」の指定を受けました。四国では当院と四国がんセンター(愛媛県)の2施設が指定され、がん医療の発展に貢献していく予定です。

これに伴い、がんゲノムに係わる検体検査の品質や精度管理のため臨床検査室、病理検査室におけるISO15189認定取得が必須となりました。その他、臓器組織提供・移植医療支援室による臓器移植医療への貢献、医療法改正に基づく放射線被曝の線量管理と記録の義務化に対する対応に加え、医療被曝低減施設認定も受ける予定です。

次に、人生100年時代に突入し地域包括ケアが目ざされており、医療だけでなく保健、福祉、社会の連携システムが重要であります。当院としても高度急性期機能を担い、高難度医療、先進医療、臨床研究、人材育成などを行い、かつ地域の医療機関とも密接な連携を構築する必要があります。さぬき市民病院との周産期医療連携(セミオープン)システムも開始され、K-MIX+を用いた医療情報連携、薬局との情報共有や多施設臨床研究などへの応用、総合地域医療連携センターの充実、病院訪問、関係医療機関懇談会、ホットライン、イキイキさぬき健康塾、出前講義(デクリコン)などもさらに発展させる予定です。

小豆島中央病院の人材支援に関して、筑学長より小豆島地区は持続可能な地方分散地区であり、香川大学からも多くのプロジェクトを行っており、附属病院のミッションとして小豆島医療の将来像を構築していかなければならないとのメッセージが届きました。附属病院として大きな責任があり、各世代、各科、各部署におきまして是非ご協力をお願い申し上げます。

さらに、チーム医療の推進のため「特定行為に係わる看護師研修制度」を当院も今年度に外科術後病棟管理領域、術中麻酔管理領域、在宅・慢性期領域の3部門を申請しました。今後研修を終了した看護師による医師業務のサポートが可能となります。

重要課題である働き方改革に対する対応ですが、当院では、時間外労働・休日労働に関する協定届(36協定)の見直し・改正を行い、労働時間短縮ワーキンググループを設置し改善を行ってきました。時間外勤務の考え方のガイドラインを作成し、さらに勤務時間の適正管理システムなどを導入する予定です。また、いちご保育園、女性医師へのキャリア形成へのサポートなども充実させ、明るく笑顔で満足して働ける職場作りを行いたいと思っています。

上記のことを実践するためには、さらなる安定した病院経営が必須であります。すべての職員の意見を聞きながら、病院運営に反映させていきたいと思っています。皆様の益々のご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

おわりに、本年が、皆様一人ひとりにとって、実り多き素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



### 診療科長の横顔

#### 座右の銘、ポリシー

“誰とでもすぐお友達になる作戦”

患者さんはもとより職場など周囲の人との関係を良好に保つためにはまずお友達になることを心がけています。特に患者さんとのやりとりはこちらが病状を聞くばかり一方通行になりがちです。これでは患者さんが本当に何を希望しているのか、何に困っているのかなど心を開いて話してもらえません。外来が忙しくても、時々自分は今こんなことにはまっていると、こんなことがあったなど一言二言お話しするだけでとても会話が弾みお友達感が増したなあと感じられます。病院は緊張したり気を遣ったりする場所ではなく、癒やされる場所であることを願っております。

#### 診療科紹介

乳腺内分泌外科では乳腺疾患と甲状腺・副甲状腺疾患に対する診療を行っています。特にがんに対しては「再発させない治療」を目指しています。そのためには早期診断・早期治療は最優先すべき目標です。我々はこの目標に毎日積極的に取り組んでいます。



香川大学医学部  
呼吸器・乳腺内分泌外科学  
准教授 紺谷 桂一

### 師長の横顔

#### 座右の銘、ポリシー

「至誠にして動かざる者は未だこれ有らざるなり」これは、吉田松陰が座右の銘とした孟子の言葉で、「誠を尽くして人に接すれば、心を動かさないものはこの世にいない。まごころを十分に発揮しようと思ひ努力することが人の道である」という意味の言葉です。

この言葉は、まさに看護の本質である、患者さんの声に耳を傾け、患者さんに寄り添い、患者さんから学ぶ姿勢が大切であることに立ち戻らせてくれます。そして、誠の心を尽くした時、必ずそれが人々の心に何か影響を与えていくと信じています。

#### 病棟紹介

南病棟5階は消化器外科・乳腺内分泌外科の病棟です。

急性期外科病棟であり、手術の前治療、術後の補助療法を含めた周手術期の患者さんが入院されています。患者さんの人生において手術は大きなライフイベントです。手術を受ける患者さんの不安が可能な限り軽減できるよう、術前オリエンテーションやインフォームドコンセントの同席を行っています。術前から合併症を持つハイリスクな患者さんも多く、術後は合併症を起こさないよう観察に努めるとともに、社会復帰に向け、早期回復できるよう疼痛コントロールを行いながら、早期離床へ取り組んでいます。この場所で出会える患者さんやご家族に最高の看護を提供することが私たちの使命と考えます。



香川大学医学部附属病院  
南病棟5階  
師長 中野 葉子



南病棟5階 スタッフ集合写真

## 「ロボット手術は素晴らしい!

### ～手術支援ロボット「ダヴィンチ」による前立腺がん・腎臓がん・膀胱がん手術～

香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科 講師 常森 寛行

2018年4月、これまで泌尿器科の前立腺がん手術、腎臓がんに対する腎部分切除術の2つにしか認められていなかったロボット手術の保険適用範囲が拡大し、新たに12のロボット手術が保険診療として行えるようになりました。今後ロボット手術はますます増えていくことが予想されます。ロボット手術と一概に言ってもロボットが手術をするわけではありません。これまで通り医師が手術をすることに変わりはありませんが、実際に患者さんの体内に入るのはロボットアームになります。お腹を大きく切ることなく、ロボットの細いアームが通る穴を通して、手術を行うことができます。結果として傷も小さく、痛みも少なくなるため術後の回復も早くなります。またロボット手術は、従来の開腹手術や腹腔鏡手術と比較して精緻な手術が可能です。人間ならばおこる手の震えなどもなく狙った部位で正確な手術が可能となります。カメラは三次元画像、高解像度で鮮明な拡大画像が得られ、通常の手術では見ることのできない体の細かな観察も可能となります。さらに術者自身にも優しいのも特徴です。座って手術ができることで術者の負担も軽減し、高い集中力を長時間保てるメリットがあります。ロボット手術による手術を導入することは、これまでの術者の技術に依存していた手術のプレを少なくする効果もあります。患者さんにとっては、いつでもどこでもレベルの高い手術を受けられるということにつながります。

ロボット手術時代に備えて香川大学医学部附属病院では、2018年7月にロボット手術センターをオープンしました。手術の安全な実施、効率的な運用、術者の育成、新規術式の検討、手術の評価・監査などロボット手術を安全・安心に施行するための取り組みを行っています。

### 従来の手術と比べたダヴィンチ手術のメリット・デメリット

	メリット	デメリット
患者さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傷が小さい</li> <li>・出血量が少ない</li> <li>・術後の回復が早い</li> <li>・入院期間が短い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の対応がしにくい</li> </ul> 
術者・病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拡大視野(最大40倍)で手術ができる</li> <li>・術者の負担が少ない</li> <li>・深く狭いところでも縫合などが容易にできる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機器の維持コストが高い</li> <li>・感触がない</li> </ul> 

※第45回イキイキサメキ健康塾(平成31年3月10日開催)の講演内容を要約したものです。

**イキイキサメキ健康塾**  
香川大学医学部附属病院 医療セミナー



詳しくはこちら

## 解剖体慰霊祭を開催しました

香川大学医学部 総務課



2019年10月30日(水)13時30分から、医学部体育館において、解剖体慰霊祭を開催いたしました。

献灯・献花・黙とうの後、浜田香川県知事、清水白菊会理事長、上田医学部長、医学部学生代表による追悼の辞が述べられました。

最後に、遺族や学生等参列者約500名が献花を行い、医学教育・研究に協力され、医学の向上・発展に貢献された2,063柱の御霊に哀悼の意を表し、故人の冥福を祈りました。

## 脳死下臓器提供シミュレーションを開催しました!

香川大学医学部附属病院 臓器組織提供・移植医療支援室

2019年9月25日(水)、公益社団法人日本臓器移植ネットワークによる「2019年度院内体制整備支援事業」の一つとして脳死下臓器提供シミュレーションを実施しました。当院の臓器提供マニュアル、法的脳死判定マニュアル等に準じたシミュレーションを実施し、横見瀬前病院長をはじめ、医師 /17名 看護師 /18名 専門職 /6名 事務職 /10名の計51名が参加しました。当日は、香川県移植コーディネーターの吉岡さんから「臓器提供の現状」についてのご説明もいただき、症例発生を想定したシナリオに沿って、連絡体制や各部署における役割、外部機関との連携等、臓器提供に至るまでの一連の流れを確認しました。



## 臨床研究に関するご案内

香川大学医学部 倫理委員会委員長  
香川大学医学部附属病院 治験審査委員会委員長  
香川大学医学部附属病院 臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

## イベントカレンダー 2020.1~2020.2月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
1/9 木	14:00~15:10	西病棟1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と医師が話をさせていただきます。	臨床栄養部	(087)891-2066
1/12 日	11:00~12:00	丸亀町レッツホール	イキイキさぬき健康塾 (正しい知識でしっかり予防!インフルエンザ)	総務課	(087)891-2008
1/17 金	14:00~15:00	臨床栄養部 研修室	カフェ「おりーぶ」	がん相談支援センター	(087)891-2473
1/23 木	14:00~15:10	西病棟1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と理学療法士が話をさせていただきます。	臨床栄養部	(087)891-2066
1/25 土	10:00~17:30	高松市生涯学習センター	上級CRC(臨床研究コーディネーター)養成研修	臨床研究支援センター	(087)891-2345
1/26 日	9:30~16:30	(まなびCAN)高松市片原町11-1	【講義1】臨床研究に関する規制要件の動向と運用 他		
2/2 日	11:00~12:00	丸亀町レッツホール	イキイキさぬき健康塾 (放っておけない尿潜血陽性!~腎盂尿管膀胱がんの診断から治療まで~)	総務課	(087)891-2008
2/6 木	14:00~15:10	西病棟1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と医師が話をさせていただきます。	臨床栄養部	(087)891-2066
2/20 木	14:00~15:10	西病棟1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と看護師が話をさせていただきます。	臨床栄養部	(087)891-2066

編集委員会 (50音順)

(2019年12月現在)

阿部(看護)、荒井(検査)、井町(外来)、大高(医療支援)、樫原(管理)、笹川(放射線)、常森(病棟)、富田(経営企画)、芳地(薬剤)、前川(医事)、南野(副病院長)、横井(医療情報)、横川(総務) [委員長 田宮病院長]